

ISO 審議状況の要点 (2011年6月2日から2012年8月1日までの変遷)

注) 文章中の表現で、「～の規格作成が進行中」はすでに DIS 以上の段階にあるという意味。

「～が検討されている。」は CD 以下で委員会検討段階であるとの意味。

(1) 大気専門委員会 (TC146)

●固定発生源 (SC1)

- ・排ガス中の TVOC の分析法 (NDIR 法) の規格が発行されました(2012/10/16)。
本規格は JIS B 7989 の NDIR 法を基礎に作成されていますが、ISO では連続モニタリング用の測定法となっています。: ISO/FDIS 13199→ISO 13199
- ・バーチャルインパクター法による排ガス中の高濃度 PM10/PM2.5 の測定法の規格が発行されました (2012/6/18)。: ISO 13271
- ・放射性炭素の分析による、バイオマス起源と化石燃料起源の CO₂ の比率を求める方法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 13833
- ・温室効果ガスに関し、自動測定 of 校正法や品質管理についての規格作成が検討されています。: ISO/CD 14385-1, -2
- ・希釈器を用いた凝集性粒子の測定法 (サイクロンサンプラー法) の規格作成が検討されています。: ISO/WD 25597
- ・ダクト内の流速及び体積流量測定 (Part1: マニュアル法、Part2: 自動計測法) の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 16911-1, -2
- ・排ガス中の粒子状及びガス状のセレンの測定法が検討されています。: ISO/WD 17211

●作業環境 (SC2)

- ・X 線回折法による吸引性結晶シリカの測定法が検討されています。: ISO/WD 16258-1, -2
- ・各種誘導体と液体クロマトグラフィー-質量分析法を用いたイソシアネート類の分析法の規格 2 件が作成進行中です。: ISO/DIS 17734-1, -2
- ・1-(2-メトキシフェニル)ピペラジンと液体クロマトグラフィーを用いた全有機イソシアン酸類の測定が検討されています。: ISO/NP 16702
- ・短期検知管測定システムの要求事項及び試験方法の規格が検討されています。: ISO/WD 17621
- ・人の呼吸器系内の浮遊微小粒子の沈積のためのサンプリング手順の規格が発行されました。: ISO 13138
- ・ICP-EMS を用いた浮遊微小粒子状物質中の金属及び半金属の測定 (第 1 部: サンプリングと第 2 部: サンプル調整) が発行されました。: ISO 15202-1, -2

●周囲空気 (SC3)

- ・市販のバルク材におけるアスベストの重量法と顕微鏡法による定量の規格が検討されています。: ISO/WD 22262-2
- ・市販のバルク材におけるアスベストのサンプリングと定性分析の規格が発行されました。: ISO 22262-1

●気象 (SC5)

- ・ライダーによる視程内の地上遠隔測定の規格が発行されました。: ISO 28902-1
- ・ドップラーライダーによる視程内の地上遠隔測定の規格が検討されています。:
ISO/WD 28902-2

●室内環境 (SC6)

SC6 では 2011 年 6 月以降に多くの規格が発行されています。

- ・SEM による表層の繊維状粉じんの定量法が検討されています。: ISO/CD 16000-27
- ・VOC 検出器の試験方法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 16000-29
- ・車内装飾品、部品及び材料からの揮発性有機化合物の放出測定に関する規格が 3 件発行されました。: ISO 12219-1, -2, -3
- ・室内空気及び放散試験チャンバー内空気中のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物測定のための規格が 3 件発行されました。: ISO 16000-3, -4, -6
- ・カビの検出と計数、サンプリング方法の規格がそれぞれ発行されました。: ISO 16000-18, -19
- ・建築材料からの準揮発性有機化合物の放散測定法の規格が発行されました。: ISO 16000-25
- ・二酸化炭素のサンプリング方法の規格が発行されました。: ISO 16000-26
- ・建材からのにおい放散測定の規格が発行されました。: ISO 16000-28

(2) 水質専門委員会 (TC147)

●物理的・化学的・生物的方法 (SC2)

SC2 では 2011 年 6 月以降に多くの規格が発行されています。

- ・タンデム質量検出器付き HPLC によるグリホセートと AMPA の定量法が検討されています。: ISO/CD 16308
- ・光学センサーを用いた溶存酸素の測定が検討されています。: ISO/CD 17289
- ・GC-MS を用いたポリ塩化ナフタレンの定量法が検討されています。: ISO/CD 16780
- ・離散解析システムと分光光度検出器によるアンモニア等の分析法の規格作成が進行しています。: ISO/DIS 15923-1
- ・HG-AFS や HG-AAS によるヒ素とアンチモンの定量法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 17378-1, -2
- ・HG-AFS や HG-AAS によるセレンの定量法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 17379-1, -2
- ・色の試験及び測定の規格が発行されました。: ISO 7887
- ・IC 及びポストカラム反応 (PCR) を用いた溶存臭素酸の定量法の規格が発行されました。: ISO 11206
- ・GC-MS と負イオン化学イオン化法 (NCI) を用いた短鎖ポリ塩化アルカンの定量法の規格が発行されました。: ISO 12010
- ・濃縮をする又はしない AAS による水銀の測定法の規格が発行されました。: ISO 12846
- ・流れ分析 (FIA 法及び CFA 法) による全シアン及び遊離シアンの定量法の規格が発行されました。: ISO 14403-1, -2
- ・非極性分子の定量において、GC-MS を用いる方法の規格が発行されました。: ISO/TS 28581
- ・16 P A H の定量において、GC-MS を用いる方法の規格が発行されました。: ISO 28540

●放射能測定 (SC3)

- ・ α 線分光法によるウラン放射線の測定が検討されています。: ISO/CD 13166-1
- ・ラドン 222 と短寿命崩壊生成物の放射能測定について 3 種類の測定法 (Part1: ラドンの発生由来と測定法、Part2: γ 線スペクトロメトリによる直接測定法、Part3: 脱ガスによる間接測定法) の規格作成がそれぞれ進行中です。: ISO/DIS 13164-1, -2, -3
- ・ラジウム 226 放射線濃度の測定について 2 種類 (Part1: 液体シンチレーション係数法、Part2: エマノメトリ法) の測定法の規格作成がそれぞれ進行中です。: ISO/DIS 13165-1, ISO/CD 13165-2
- ・液体シンチレーション係数法を用いた鉛 210 の試験法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 13163-1
- ・液体シンチレーション係数法又は比例計数を用いるストロンチウム 90 及びストロンチウム 89 の試験法の規格が発行されました。: ISO 13160

- ・ α 線分光分析法によるポロニウム 210 の放射能濃度の測定の規格が発行されました。: ISO 13161
- ・ 液体シンチレーション計数法による放射性炭素活量の測定の規格が発行されました。: ISO 13162

●微生物学的方法 (SC4)

- ・ 微生物の回収率を比較するための要求事項を規定した規格が検討されています。: ISO/CD 17994
- ・ レジオネラの定量の規格が検討されています。: ISO/WD 11731, ISO/PRF TS 12869
- ・ メンブレンフィルター法による大腸菌の検出・計数法が検討されています。: ISO/CD 9308-1
- ・ メンブレンフィルター法によるウェルシュ菌の検出と定量法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 14189
- ・ 最確数法による大腸菌群等の検出・計数法の規格が発行されました。: ISO 9308-2
- ・ 微生物計数法の試験結果のばらつき及び不確かさに関する規格が発行されました。: ISO 29201

●生物学的方法 (SC5)

SC5 は 2011 年 6 月以降に多くの規格が発行されています。

- ・ 大ミジンコ類の遊泳阻害の測定法の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 6341
- ・ オオフサモに対する土壌の毒性効果の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 16191
- ・ 軟質海底における大型動物相のサンプリングに関する指針の規格作成が進行中です。: ISO/DIS 16665
- ・ 単細胞緑藻類による淡水藻類の成長抑制試験の規格が発行されました。: ISO 8692
- ・ 海水及び汽水域の紅藻による生育阻害試験の規格が発行されました。: ISO 10710
- ・ 淡水水域における底生大型無脊椎動物の試料採取方法と使用機器に係るガイダンスの規格が発行されました。: ISO 10870
- ・ 殻亜門、貝虫綱への慢性毒性値の測定法の規格が発行されました。: ISO 14371
- ・ 甲殻類等の急性毒性の定量法の規格の規格が発行されました。: ISO 14380
- ・ サルモネラ/ミクロソーム彷徨試験 (エームス彷徨試験) の規格が発行されました。: ISO 11350

●サンプリング (SC6)

- ・ 天然及び人造湖、河川、底質のサンプリングの指針がそれぞれ検討されています。: ISO/WD 5667-4, -6, -12
- ・ 環境水のサンプリング及び品質保証の指針が検討されています。: ISO/CD 5667-14
- ・ 試料の保存と取扱いの規格作成が進行中です。: ISO/FDIS 5667-3